

東都生協 50周年の取り組み ありがとう50年

東都生協は2023年6月10日、設立50周年を迎えました。そこで、組合員、生産者・取引先、職員が共に50周年を祝い、未来に向けて学び、関係者のみんなが感謝を伝え合う交流や仲間の輪を広げ、食を選択する力を養う機会など、さまざまなイベントを企画してきました。JA東京南新宿ビルで開催した東都生協50周年感謝祭 Tohto Week 第1弾・第2弾には合わせて約9千人が来場しました。

今年51年目がスタートしました。私たちは基本理念・個別理念と「2030年ビジョン」を旗印に、未来に続く持続的な事業と運動の再構築を進めます。地域や社会とつながり、変化する時代環境にしっかりと適応して地域社会からも選ばれる生協を目指していきます。

50周年スローガンを決定

ありがとう50年
未来につなぐ「食」のバトン

50周年スローガン

スローガンには、設立以来50年間、これまで支えてきた組合員をはじめとする生産者・取引先、職員への「感謝」と東都生協がこれまで大切にしてきた「食」のバトンを、これからも未来に向けてつないでいく決意が込められています。

50周年ロゴマークを公募、決定



50周年ロゴマークは組合員公募157作品から実行委員会で選考、決定しました。このマークを作成した組合員が作品に込めたメッセージには「5つの星は、私たち組合員が毎日食べている、産直の野菜・果物・牛乳・お肉・魚介を表しています。右の矢印は、未来へつなぐバトンであると同時に、組合員と生産者の思いが常に行き来していることの特徴」との思いがこめられています。



50周年
ロゴマーク入り
ポロシャツ

2023年
6月19日

50周年記念サイト開設



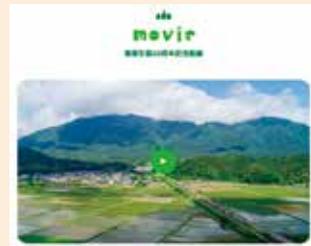
<https://www.tohto-coop.or.jp/50th/>



東都生協
ホームページ
内に開設



50周年記念動画公開



東都生協の設立当時から50年の歩みと未来に向けた挑戦について取りまとめた50周年記念動画を制作しました。



2023年
9月26日

永年(35年以上)取引先感謝状贈呈



贈呈式

これまで東都生協を35年以上にわたり支えていただいた産直産地、取引先54団体へ国産間伐材を使用した感謝状の贈呈式を執り行いました。



2023年11月7日
JA やさと訪問



2023年11月23日
(農)房総食料
センター訪問



2024年1月19日
(有)須黒食品訪問



※感謝状は国産間伐材を使用しています。

2023年
7月17日~29日

オンラインでつなぐ「食」のバトン

7月17日
(月・祝)開催
熊本「銀二郎トマト」
の産地へ!
オンライン訪問



「銀二郎トマト」は組合員の皆さんに育ててもらいました。組合員の皆さん、生産者カードをいつもありがとうございます。毎週たくさんいただく感想が「銀二郎トマト」のレベルアップにつながっています」と話されていました。[写真左:前田銀二郎さん、写真右:(株)マルタ 本間大貴さん]

7月29日
(土)開催
おいしいだけじゃない・
組合員を元気にする
北海道
みよい農園の
かぼちゃ!



生産者の明井清治さんは、「今年は気候も生育条件もよく、とても大きく育ちました」と収穫したての大きく育ったくりりんかぼちゃを見せてくださいました。

7月22日
(土)開催
つながる×
奈良五條産直組合
循環型農業に
取り組んでいます♪



はじめは緊張気味の益田吉仁さんでしたが、司会の地域コーディネーターとの掛け合いで段々普段の調子を取り戻し、柿や土づくりの話に花が咲きました。

2023年
10月14日

オンライン料理LIVEイベント

「みんなで作って食べる」楽しい体験を通して、食の大切さや東都生協の商品の魅力を実感していただく企画として、リアルとオンラインを組み合わせた料理イベントを、キッチンランド江東（江東区猿江）で開催しました。

講師は韓国料理「HAN COOK」オーナーシェフの林三樹夫氏
当日の様子をYouTubeライブ配信



林シェフの
アドバイスを
聞きながら調理



参加者が作った
「れんこんチヂミ」
「コチュジャン麻婆豆腐」

2023年
12月10日

写真家 大竹英洋スライドトーク



写真家大竹英洋氏によるスライドトークを2023年12月10日に日比谷図書文化館で開催しました。組合員や一般参加者を含め154人が来場しました。テーマは「ノースウッズ 生命を与える大地—北の森にオオカミをもとめて—」。SDGsの目指す持続可能な社会に向けて、自然と生き物から環境問題を捉える企画としました。

東都生協50周年感謝祭 Tohto Week (会場: JA 東京南新宿ビル)

2023年
9月26日~30日

第1弾
テーマ: ありがとう50年

2024年
2月27日~3月2日

第2弾
テーマ: 未来へつなぐ



おいしいものマーケット
販売を通して、食料自給率向上をアピール



試飲コーナー
コーヒーやお茶、紅茶を提供



産地・メーカーとの交流企画

産直の次世代継承などをテーマ
に産直シンポジウムを開催

埼玉産直センター前代表理事 山口一郎氏、JA やさと専務理事 廣澤和善氏、
ながさき南部生産組合会長代表理事 近藤一海氏、風間理事長が登壇。
紀ノ川農協代表理事専務 松本和広氏がコーディネーターを務めました。



産地の直売所がやってキター！
全国から8団体が出展



3.11を忘れない・東都生協災害ボランティアとの合同企画
トイレの学習会 これからの災害を考える

ごみ分別
さがなつり
ゲーム



家庭用品見本市



衣料品、化粧品、洗剤など取引先10社が集まり、
実際に触れる機会を提供



どんぐりでつくる森の小さな妖精たち

みんなで楽しむSDGs
東都生協ラボ
~自由に遊ぼう~
テーマごとにクイズや
ゲームなどを通じて
SDGsを学びました



東都生協の食を支える若手の生産者とこれからのくらし、
食と農の未来を語り合う「新時代ふっちゃんトーク」を開催。

(農)埼玉産直センター
百年トマト部会・茂木
太資氏、JA やさと有機
栽培部会・渡邊拓海
氏、(有)山梨フルツ
ライン・加藤達也氏、
(農)多古町旬の味産直
センター・下田響輝氏
の4人が登壇、東京農工
大学農学研究院講師
の大倉茂氏がコーディネ
ーターを務めました。

50周年開発商品・記念包材



50周年開発商品

河内晩柑やわらかドライフルーツ(熊本県産)

組合員代表の総代の皆さんに試食の上、商品名と包材を決めていただき
商品化。河内晩柑の爽やかな香りとほど良い苦味が特徴のやわらかドライ
フルーツです。

ナチュラル
カラー
(50周年仕様)
50枚



50周年開発商品

国産間伐材
かまぼこつみき

かまぼこ板が由来の「国産間伐材かまぼこつみき」は、
間伐材の有効利用から生まれました。小田原蒲鉾協同組合が
地元の森の杉をかまぼこ板に使用しているものを流用しています。

マルチカラー
(50周年仕様)
24枚



50年間ありがとう！
みんなの
「八千代牛乳」！

生産者の皆さんへ「おいしい天然八千代
牛乳を届けてくれてありがとう」の
メッセージを募集、紹介しました。

50周年記念仕様
八千代牛乳(1ℓ)

千葉北部酪農農業協同組合の生産者
の高品質な原乳を毎日集乳し、風味を
損なわない75度15秒の「HTST(高温
短時間殺菌)法」で殺菌しました。

50周年記念仕様
東都
もーもーロール
2枚重ね
30m×12R

組合員から回収した
牛乳パックなどの
紙類を原料に、再生紙
100%で製造された
トイレトロールです。



東都生活協同組合 50周年記念誌 制作



東都生協の50周年の歩み
を取りまとめた「東都生活
協同組合50周年記念誌」
が完成しました。多くの方
に見ていただけるように
デジタルブック版を作製し
ました。東都生協のホーム
ページ、50周年記念サイト
からぜひ、ご覧ください。



50周年記念誌
電子ブック

